



能 「夕顔」
山ノ端之出 上野 朝義

狂言 「棒 縛」 茂山忠三郎

能 「鉄 輪」 上野 雄介

第八十六期令和七年度

第二回

上野松颯会

定期能楽会

令和七年七月五日（土）

午後一時始（正午開場）

◆会場 大槻能楽堂

大阪府中央区上町A-7（〇六-六七六一-八〇五五）

◆入場料 一般五千円／学生二千五百円

◆お問い合わせ・入場券取扱い

大槻能楽堂 〇六-六七六一-八〇五五

朝陽会館 〇六-六三三七-〇八四四

出演能楽師



第二回 上野松楓会定期能楽会

令和七年七月五日(土) 午後一時始

仕舞

船弁慶クセ
邯鄲アト
上野 朝彦

伊原 昇
赤井きよ子
上野 雄三
上野 雄介

上野 朝義

能

夕顔
山ノ端之出
間 山本 善之

辻 芳昭
久田舜一郎

赤井 啓三

後見
上野 朝彦
赤井きよ子

地謡

伊原 昇
田口 亮二
渡邊 瑞子
赤松 禎友

棒縛
茂山忠三郎

狂言

山口 耕道
小齊平真路

後見

岡村 宏懇

〈休憩 十五分〉

能

鉄輪
上野 雄介
喜多 雅人
中村 宜成

上野 義雄
上田 敦史
中田 弘美
赤井 敦

後見
田口 亮二
上野 朝義

地謡

伊原 昇
渡邊 瑞子
赤井きよ子
上野 朝彦
赤松 禎友
雄三

附祝言 終演予定十七時頃

『夕顔 山ノ端之出』

五条あたりにやつてきた旅の僧(ワキ・ワキツレ)。そのとき、一軒の破屋の内から、歌を口ずさむ女の声が聞こえてきた。声の主(前シテ)は、この破屋こそ源氏物語に登場する「何某院」だと教える。何某院がすなわち河原の院であり、光源氏が夕顔の女と契りを結ぶようになった河原の院で、夕顔の女は物の怪に憑かれ、帰らぬ人となってしまったと語り、姿を消す。

【中人】

僧が吊っていると、夕顔の女の亡霊(後シテ)が現れ、恋の乱れに心を奪われてこのような身になったので、どうか迷いを晴らしてほしいと僧に頼み、当時を思い出して舞を舞うと、法華経の功德によって妄執を離れて成仏できることを喜び、消え去る。小書き「山ノ端之出」では通常では無い、作り物の中から登場する。

『鉄輪』

夫に見捨てられた女(前シテ)は、新しい妻を迎えた夫への嫉妬を押さえ難く貴船神社に祈願すると、社人(アイ)が女に、鉄輪(五徳)にろうそくをつけて怒る気持ちを持たせ、まことに鬼となるだろうという神託を伝える。告げを聞いた女は恐ろしい形相となって走り去って行った。【中人】

一方、夫(ワキツレ)は毎夜悪夢にうなされるので陰陽師の安倍晴明(ワキ)のもとを訪れ、女の恨みで今夜にも命が危ないと言われ、急いで祈禱を頼む。清明が夫と新妻の身代わりの人形を作って祈ると、鬼となった女の生霊(後シテ)が現れる。女は捨てられた恨みを述べ、新妻の人形の髪をつかみ、激しく打ちすえ、男の命を取ろうとするが、清明の呼び出した神々に追われ、力尽き消え去る。

◆「夕顔・鉄輪」の演目解説講座

定期能をより楽しむために

「鉄輪」 4月11日(金)

「夕顔 山ノ端之出」 5月30日(金)

昼の部 午後1時〜午後2時半
夜の部 午後6時〜午後7時半

料金 2000円

会場 朝陽会館 大阪市北区天神橋一の一七の八

お問い合わせ先

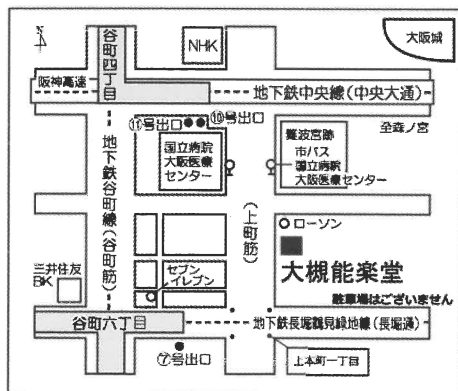
朝陽会館 06(6357)0844

info@choyokaikan.com

【第3回上野松楓会定期能楽会】

令和7年12月21日(日) 午後1時始

能 野宮 赤井きよ子
能 狂言 伯母ヶ酒 善竹 隆司
能 熊坂 伊原 昇



駐車場はございません。公共交通機関をご利用下さい

- 大阪メトロ谷町線・中央線「谷町四丁目」下車、⑩番出口南へ約300mまたは谷町線・鶴見緑地線「谷町六丁目」下車⑦番出口北に360m
- 市バス「国立病院大阪医療センター」下車南へすぐ ※大阪駅前から62系統「住吉車庫前」行乗車

※本公演における許可のない写真撮影・テープ録音・携帯電話等にての撮影・録画は固くお断り致します。
・発熱や咳など、風邪の症状がみられる場合はご来場をお控えいただきますようお願い致します。